

情報共有

※ 宮崎班 ← 11時45分
NISA班

(1枚)

福島事務所定例記者レク概要 (5/7 (土) 9時～)

<説明内容>

- ①プラント関連パラメータの状況報告 (5月7日 6:00現在) 【口頭説明】
- ②プラント状況、本日の作業予定について 【口頭説明】
 - 1, 2, 3号機の原子炉への淡水の注水 (1号機:給水系、2, 3号機:消火系) について
 - ・ 3号機圧力容器下部温度が上昇傾向にあるため継続監視中
 - 1, 2, 3号機T/B地下階、トレンチたまり水の水位について
 - 1号機原子炉格納容器への窒素封入について
 - 1号機格納容器フラiddiing状況について
 - 1号機原子炉建屋内作業環境の改善について
 - ・ ダストサンプリングの測定、分析結果については情報が入り次第お知らせ
 - 4号機使用済み燃料プールの水位、温度等の確認とサンプリングについて
 - 集中廃棄物処理施設への廃液の受け入れ作業について
 - ・ 3号機ライン変更に伴い一時停止予定
 - 飛散防止剤の樹脂散布作業 (有人、リモート車両) について
 - リモートコントロール重機によるガレキの撤去作業について
 - 津波対策、滞留水の溢水対策におけるトレンチ立坑の閉塞について
 - ・ 昨日、本日でモルタル投入

<主な質疑>

- Q. 3uの注水経路をなぜ消化系から給水系に変更するのか?
- A. 消化系ラインは元々できているライン。経路が長く、分岐している箇所によって意図した注入量が炉に入っていない可能性も考慮し、原子炉への注水がより直接的に可能な給水系ラインへの変更を実施する。
- Q. なぜこれまでしてこなかったのか?
- A. 配管切断やつなぎ込み作業等が発生する、また線量が高い等の事情もあり、これまで容易には進められなかった。
- Q. 注水流量を増やさないのか?
- A. 検討している。
- Q. ホウ酸を入れる予定があると聞いたが?
- A. 様々な可能性を考慮して対策を検討している。
- Q. タービン地下階には高濃度の廃液が滞留しているが作業は可能なのか?
- A. 作業はタービン建屋1階で実施する。また、2号機から集中廃棄物処理施設への移送関係で作業を行ったこともある。今回はこの移送を一時停止し、線量低減を図り、作業を行う。
- Q. これによって3号機圧力容器の温度は下がるのか?
- A. 注水して改善が図れれば温度低下が期待できる。

以上

情報共有 福島第一原子力発電所

東京電力株式会社

手許資料

(1枚)

官邸班 ← プレス
HISA班 対応チーム

5/7 (土) 福島事務所 15時定例レク概要

<説明内容>

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (5月7日 午前10時現在) 【資料配付】

②1号機 R/B内空气中放射正物質濃度推移 【資料配付】

③作業状況等について 【口頭説明】

- 3u原子炉注入ラインの切替について
 - ・2u溜まり水のRW移送を停止。(9:22)
 - ・その後、1uトレンチ水にてフラッシング。
- 2u溜まり水のRWへの移送について
 - ・事前現場状況確認や然るべき弁の開作業などののち、移送を再開する予定。
- 6u溜まり水の仮設タンクへの移送について
- 4uSFPについて
 - ・水位、水温、水中カメラ、サンプリングを実施済。
 - ・放水を開始。(14:00)
- 飛散防止剤散布、ガレキ撤去、立坑閉塞については、継続実施中。

④プラント関連パラメータの状況報告 (5月7日 12:00現在) 【口頭説明】

<主な質疑>

- Q. 3u注入ライン切替に際して行う作業について、聞きたい。
- A. 配管の作業を行う箇所の確認や、(注水が枝分かれしないよう) 弁を閉める操作など。

- Q. 1uR/B内ダスト濃度は、どの程度になれば良いという目安はあるのか？
- A. 既に目標をする水準をクリアしている値だが、更に出来る限り下げたいため、排風機を継続して運転している。

- Q. 二重扉を開放可能と判断したら、直ちに実施するのか？
- A. 国、自治体等の関係機関に対してご説明してからの実施となる。

- Q. 1uに人が入城すると、再度ダストが巻き上がるのでは？
- A. 今回の一連作業で巻き上がり、現在(排風機で)吸着していると考えているが、作業を行う際は、事前サーベイを実施する。

- Q. 1uR/B二重扉の開放によって、周辺監視区域の線量が上昇し、一時帰宅等に支障をきたすことはないか？
- A. 二重扉の開放は、MPの値に影響を及ぼすようなレベルではない。

- Q. 1uR/Bダストについて、ヨウ素が(セシウムに比べ)下がっていないのはなぜか？
- A. 現時点で詳細については、わからない。

以上

情報共有

(2枚)

福島事務所 20時レク概要

高野班 ← プラス対応
NIS A班

福島事務所定例記者レク概要 (5/7 (土) 20時～)

<説明内容>

- ① 「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (5月7日 午後3時現在)
- ② 「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第四十三報)」

「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について (第四十五報)」

「茨城県沖合海域にて採取した海水の放射性物質の核種分析結果について」

「福島第一原子力発電所2号機の取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について (続報33)」

「福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について」

「集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水核種分析結果」

「γ線核種分析結果」

③作業状況のお知らせ

- 1, 2, 3号機の原子炉への淡水の注水 (1号機:給水系、2, 3号機:消火系) について

- ・3号機原子炉温度は落ち着いてきているが、引き続き注視
- ・3号機は給水系ラインへの変更工事を継続実施予定

- 1, 2, 3号機T/B地下階、トレンチたまり水の水位について

- 1号機原子炉格納容器への窒素封入について ・継続実施

- 1号機格納容器フラッシング状況について

- 1号機原子炉建屋内作業環境の改善について

- ・局所排風機継続運転中
- ・明朝まで運転継続、エアロック開について、作業開始の可否判断予定

- 使用済み燃料プールへの放水状況について

- ・4号機SFP、水位、温度、状況を確認

- 飛散防止剤の樹脂散布作業について

- 2号機たまり水移送、一時停止措置の実施について

- リモートコントロール重機によるガレキの撤去作業について

- 津波対策、滞留水の溢水対策におけるトレンチ立坑の閉塞について

- ・明日も2号機における作業実施 (明日終了予定)

<主な質疑>

Q. 3号機原子炉注水ライン変更に伴い給水ラインの配管内の水抜きを行うとのことであるが、放射線量が強く作業は危険ではないか。

A. 地震発生に伴うプラントの緊急停止により、原子炉へ送る水が残っていると考えられるため、放射線量は比較的高くないと判断している。作業は慎重に実施する。

Q. 3号給水系へのつなぎ換え工事に伴い注水は一旦止まるのか？

A. バックアップ用のポンプ車等があり基本的には停止しない方向で考えているが、検討が必要。詳細は情報が入り次第お知らせする。

- Q. 1号機に設置している局所排風機停止後の作業手順は。
- A. まず、事後の作業に向けた現場(環境)調査を行い、結果を踏まえ放射線の遮蔽他、必要な養生を実施後、水位計・炉圧計のチェック・校正等を実施する計画。併せて、熱交換器・配管等の設置に向けた作業場所の除線・放射線の遮蔽等を進める計画。
- Q. 2号機取水口付近他の放射性物質モニタリングについて、濃度変動に係る周期性及とその要因として考えられることは。
- A. 周期性の要因としては、潮の満ち引きが考えられるが、今暫く、経過観察と分析・検討を行うことが肝要であると考えている。
- Q. 1号機の作業環境改善における二重扉の開放について。
(どのような手順で進めるのか)
- A. 当該作業の実施にあたっては、リードタイムをもって、国・自治体等にご報告(説明)した上で実施する。プレスも行う予定。
なお、本件については、昨日、保安院より、状況確認・判断・作業手順等につき報告を求める指示文書を受領している。

以上